

# 平成18年度 事業報告書

平成18年4月1日 から 平成19年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本知的財産翻訳協会

## 1 事業の成果

平成17年度は、特許等の知的財産に関する翻訳（以下、「知財翻訳」という。）能力検定試験を実施し、知財翻訳者育成事業を行った。また、ホームページにより、会員のみならず広く一般国民に対し、知財翻訳に関する普及啓発に努めた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
海外における知的財産保護のための翻訳業務の振興に関する調査研究事業	今年度は実施せず。	-	-	-	-	-
知財翻訳能力評価システムの策定事業	検定試験実施方法、評価方法、答案採点方法の検討、策定を行った。	7月から 2月	法人事務所	17人	知的財産翻訳に関心のある者 不特定多数	0
知財翻訳能力に関する認定事業	知財翻訳に関心を持つ一般市民を対象とした能力認定試験をインターネット受験システムを利用して実施した。	2006年 10月14日  2007年 3月14日	法人事務所	20人	知的財産翻訳に関心のある者 (受験者数： 136人)	3,004,662
知財翻訳に関する機関誌・ホームページ等による普及啓発事業	ホームページを開設し、活動内容等の紹介および報告を行った。月間誌にて随時活動報告を行い意識啓発に努めた。	随時	法人事務所	3人	不特定多数 一般市民	901,095

## 計算書類についての注記

---

### 1・重要な会計方針

#### (1) 減価償却の方法

ソフトウェアの減価償却の方法は、定額法を採用しております。

### 2・当期における収支計算書の収支差額と貸借対照表における正味資産の金額との関係は次のとおりです。

1. 当期収支差額		1,179,409円
2. ソフトウェアの減価償却費	△	441,000円
3. 当期正味財産増加額		738,409円

### 3・資金の範囲には、現金預金の他に未収入金、預り金、未払費用等の短期金銭債権債務を含めてあります。



## 平成18年度 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表

平成19年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本知的財産翻訳協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,880,339	
未収入金	20,000	
流動資産合計		1,900,339
2 固定資産		
無形固定資産		
ソフトウェア	1,323,000	
固定資産合計		1,323,000
資産合計		3,223,339
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	4,000,000	
預り金	2,722	
未払費用	102,400	
流動負債合計		4,105,122
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		4,105,122
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	△ 1,620,192	
当期正味財産増減額	738,409	
正味財産合計		△ 881,783
負債及び正味財産合計		3,223,339

## 平成18年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本知的財産翻訳協会  
(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費・入金収入		
入金収入	550,000	
会費収入	3,866,000	4,416,000
2 事業収入		
(1) 知財翻訳認定事業収入	1,815,000	
(2) 普及啓発事業収入	1,047,925	2,862,925
3 その他収入		
利息収入		2,003
当期収入合計		7,280,928
II 支出の部		
1 事業費		
(1) 知財翻訳認定事業費	3,004,662	
(2) 普及啓発事業費	901,095	3,905,757
2 管理費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
広告宣伝費	207,900	
旅費交通費	812,574	
印刷費	288,855	
家賃	240,000	
光熱水費	30,000	
消耗品費	31,055	
通信費	158,844	
会議費	87,873	
修繕費	42,000	
リース料	140,616	
支払手数料	3,045	
租税公課	73,000	2,115,762
3 借入金支払利息		
支払利息		80,000
当期支出合計		6,101,519
当期収支差額		1,179,409
前期繰越収支差額		615,808
次期繰越収支差額		1,795,217